

思い通りにいかないときは、 落ち着いて自分を省みる 弓道から学んだ課題と向き合う姿勢

医学部 医学科 3年

榎本 朱成 (ひのきもと あかな)

My Life Situation

趣味: 化粧品収集
所属: 弓道部



11月に行われた蔵本祭の解剖病理展では解説も担当。来場者に丁寧に説明をする姿は堂々としていて、研究者としての自信も見てとれました。

2019年8月に行われた第17回西日本医科学生総合体育大会の弓道部門で、射技賞に輝いた榎本さん。射技賞とは、プロ野球というMVPのようなもの。的中率だけでなく、弓を射る姿勢の美しさなども含めた総合点で、最優秀選手に選ばれました。

「その日はたまたま調子がよかった」という榎本さんですが、「徳島大学…」とコールされても、まさか自分の名前が呼ばれるとは思わず、「本当にビックリしました」と大会を振り返ります。

榎本さんが弓道を始めたのは大學生になってから。先輩の姿勢を見て、「カッコいい!」と思った

のが入部のきっかけで、入部当初はうまく矢を射ることができず、親指のあたりが血だらけになることもあったとか。「思い通りにいかないときに、落ち着いて自分を省みることに、自分を見つめ直すことを、弓道を通して学びました」。

**研究室配属になり、
病理の面白さに開眼!**

練習を積み重ね、ブラッシュアップしていくという弓道で得た経験は、日頃の研究にもいかされています。

「なんとなく授業を受け、『どんな医者になりたいか?』なんて、今まで考えたことがなかったんですが、常山先生の研究室に配属になって疾患病理について学ぶうちに、病気の背景を根本から勉強することの楽しさに気付きました」。

取材時、8カ月間を費やして研究の成果をまとめたポスターが傍らにありました。「大変でしたけど、やりがいがありました」と笑顔で話す様子から充実した学生生活が伺えます。

コツコツと積み重ねたものは、確実に力になる。そのことを体現しているようで、何かに打ち込むことの素晴らしさを改めて感じた取材でした。



大会様子。1回に4本射て、4本中2本の中すると次に進めるというルール。的までの距離は変わりませんが、同条件でも毎回当たるとは限らないのが面白いところ。



海外 体験記

2019年9月8日から9月13日の6日間、岡山大学薬学部の方々とフィリピン共和国セブにて高度先導的薬剤師養成プログラムに参加させていただきました。セブはフィリピン国内で人口が5位の大都市であり、公用語が英語であることから、近年では観光だけでなく語学留学先としても注目されています。この研修の目的は、フィリピンと日本の薬学部、薬局の共通点および相違点を比較して視野を広げるとともに、日本の薬物治療に対して客観的な視点を養い、将来的により高度な薬剤師業務に貢献できるよう経験を積むことでした。

本研修ではサンカルロス大学にて授業を受けたり実験をしたり、セブ市内の病院であるPerpetual Succor Hospital & Watson'sを初めとする複数の薬局を訪ねさせていただきました。また、セブから船で2時間ほど離れたところにあるボホール島にて異文化交流もさせていただきました。6日間という期間は私にとってあっという間であり、毎日が新たな発

セブにおける高度先導的 薬剤師養成プログラムに参加して

薬学部 薬学科 6年

友成 奈央実 (ともなり なおみ)



授業で学生が主体的に発表の様子



Perpetual Succor Hospitalにて



ボホール島での異文化交流

見の連続で、この期間で自分の内面がみるみるうちに豊かになっていくのを実感しました。

この研修で印象に残っていることは大きく二点あります。

一点目は、「フィリピンの方々の人柄の温かさ」です。研修当初は英語を使うことに戸惑いがありましたが、学生の方や先生方が何度かゆくり話してくださるもって話せるようになりました。コミュニケーションに大切なのはいかに整った美しい英語を話せるかどうかだと捉えていましたが、そうではなく、お互いに理解し合おうと努める姿勢が重要であると知りました。その中で人柄の温かさは緊張をほぐし、円滑なコミュニケーションを取るうえでの救いとなります。

二つ目は、フィリピンの薬剤師業務は日本と大きく変わらない点です。特に病院ではチーム医療がされていたこと、がん専門薬剤師がいることに驚きました。また、薬局においてはカウンターを隔てて薬剤師側すべての薬が配置されており、OTC医薬品の販売における薬剤師の地位の高さを感じました。



授業終わりに(筆者一番左)

事前学習をして行ったつもりでしたが、実際に行くと調べていたことと違うことや思いもよらなかった発見も多く、実際に自分の目で見るこの面白さを知りました。

視野を広げること、新しい知識を得るということだけでなく、今までの自分の考え方を見つめ直すきっかけにもなります。また、新しく何かを挑戦することには大きな勇気が必要としますが、得られるものも同じくらい大きいということを身をもって実感しました。

今回のこの研修で得た経験は、今後薬剤師として生きていく私にとって大きな意義をもたらしてくれるでしょう。

もし皆さんの中で、海外研修に興味がある方がいたら、ぜひ挑戦してほしいと思います。